平成 24 年度　事務事業事後評価調書（平成　23　年度事業）

整理番号	11	ー	37

1　事務事業の表示

※ ■ ： 該当

事務事業名	陶芸推進事業					
評価者	担当課名		教育振興課	担当係名		生涯教育係
	管理職	職名	課長	作成者	職名	係長
		氏名	横田和幸		氏名	佐藤公輔
事業の概要	地域に根付いてきた陶芸文化をより多くの町民がふれあうことが出来るよう、施設の管理体制を整え、維持管理を行うことで、利用の拡大を図る。					

全体計画（平成 20 年度～ 24 年度）		
事業費	国・道支出金	千円
	地方債	千円
	その他	千円
	一般財源	3,800 千円
	事業費計	3,800 千円

実施方法	■	直営		民間委託		その他（　）
第５期総合計画（前期）	■	登載事業		非登載事業	優先度	B

事業の位置付け	政策目標	3	のびやか・雄武～教育・文化の振興～
	基本施策	14	芸術・文化の振興
	単位施策	2	芸術・文化活動の促進
	事務事業の種類	■	自治事務
			法定受託事務
	その他計画・根拠等		

事業費	実施年度	20年度（実績）	21年度（実績）	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)
	国・道支出金	千円	千円	千円	千円	千円
	地方債	千円	千円	千円	千円	千円
	その他財源	千円	千円	千円	千円	千円
	雄武町負担額（一般財源）	772 千円	726 千円	750 千円	779 千円	760 千円
	合計	772 千円	726 千円	750 千円	779 千円	760 千円

2　事務事業の目的・内容（Plan・Do）

【誰、何が（対象）】	町民	望ましい指標（目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標）		
【抱える課題やニーズは】	陶芸愛好者による自立した活動へのシフト	年間利用者数		
		指標（指標計算式／解説）	目標値及び実績値	
【どのような状態になることを目指したのか（意図）】	陶芸工房管理人体制の現状維持と文化の伝承活動と作陶技術の向上。	① 年間利用者数	目標年度	平成23年度
			目標値	600 名
			実績値	424 名
			達成度	70.7 %
【その結果、どのような成果を実現したいか】※成果＝目的	陶芸文化の継続と文化的な活動の活性化とともに生涯学習の支援を行う	②	目標年度	
			目標値	
			実績値	
			達成度	%

内容（どのような手段で何を行ったか）	
陶芸活動の推進	産業まつり、町民文化祭への作品出店
管理人配置	陶芸愛好者への指導（3名配置、週3日間指導）

3　事務事業の評価（Check）

（1）事務事業の必要性（町民ニーズ・社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事務事業を実施しない場合の支障、既存事務事業との機能重複や見直しによる対応可能性）

必要 必要／概ね必要／課題あり	□義務的なもの □全部 □一部	芸術文化の取り組みとして陶芸事業も根付いており、生涯学習支援の面から事業の実施は必要である。

(2)事務事業の有効性（期待する効果が得られたか）

概ね有効 有効／概ね有効／課題あり	設定した目標値の達成状況 □達成 ■ほぼ達成 □下回る	管理体制と愛好者への指導などが継続的に行われるなど、町イベントへの出品等を通じて普及推進に努めている。

(3)事務事業の効率性（コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか）

概ね効率的 効率的／概ね効率的／課題あり	判断の理由 □事業費抑制 □人員削減 □時間短縮・作業軽減 ■その他	計画どおりの開設状況で、自主的な運営や指導体制が定着し、作陶技術も向上している。

(4)事務事業の公平性

公平 公平／概ね公平／公平でない	判断の理由 ■受益者負担がある □受益者負担がない □受益が一部に偏る □その他	施設の維持管理については町が行い、陶芸活動に係る経費(燃料、材料等)は利用者負担で活動を行っている。

4　総合評価【A～D】

A：計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当　等
B：ほぼ計画通りに進んでいるが目標に達成していない。事業の進め方に改善が必要　等
C：当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要　等
D：事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要　等

自己評価（一次評価）	評価会議評価（二次評価）	町長評価（三次評価）
A	A	
生涯学習の観点に立った、社会教育の重要施策であり、陶芸推進の振興・発展を図るうえで、計画どおり事業を進めることができた。	同左	

今後の展開方向
（Action）

継続／現状維持	**継続／現状維持**	
愛好者に沿った指導や安全対策の維持管理が可能であることから、現状の範囲内で支援しつつ、自主的な活動意欲の促進を図る。	同左	

＊展開方向の区分
○ 継続／現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更　○ 終了　○ 休止　○ 廃止

5　その他特記事項（アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入）